

春日丘地区

春日丘地区 ワークショップ実施概要

テーマ	アフターコロナの春日丘のまちづくりを考える	
実施内容	第1回	令和4年11月12日(土) 13:30-15:30 22人
		地区の各組織を改めて知る編
	第2回	令和4年12月10日(土) 13:30-15:30 24人
		地区の課題と未来を話し合い、ありたい地域像を考える編
	第3回	令和5年1月28日(土) 13:30-15:30 19人
		ありたい地域像を実現するため、これからの取組みを考える編
結果概要	<p>地区では様々な活動が行われ、地域内には企業や店舗などの資源がたくさんあるが、個別団体で抱える課題や資源が共有される場が少ない状況であった。参加や協働、つながりが促進されるようなまちになるにはどうしたらいいのかという視点から、下記の目的を持ってワークショップを行なった。</p> <p>(1) 地域内での身近なテーマから、自分ごととして話し合いたい！</p> <p>(2) 地域内の取り組み、個々の組織の思いを共有したい！</p> <p>(3) お互い責めるようなことなく、発展的な話し合いの場に！</p> <p>○春日丘の次の担い手の地域参加の機会をつくり、育むために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議や行事運営(曜日や時間)の見直し、リモート会議の検討 ・学生や子どものボランティア参加の仕組みづくり、インセンティブ ・逆に70歳以上が中心となることを前提とした運営手法を模索し、若者への過度な負担がいかないようにする <p>○子どもに様々な機会があり、地域で健やかに育つために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの事情にあわせた居場所づくりが必要 ・特に夜の子どもの居場所が重要(図書館に可能性) ・放課後子ども教室と公民館の連携イベント ・子ども会に入っていないなくても参加できる空気づくり <p>○年齢を重ねても地域で豊かに暮らしていくために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物に訪れる商店やモールなど生活のシーンに寄り添う交流の機会 ・コロナ前に行われた神社仏閣を巡ったり懇親を行うような交流の機会 ・公共施設など、すでにあるものを活用した交流 <p>○地域や人がつながり、更につながりをもとめるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の担い手の意見交換会を開催、団体ごとに完結せず横に連携 ・小学校での航空写真など全員で会ってみる仕組みやイベントの計画 ・ニュースポーツなど新しい交流が生まれる機会をつくる 	

	<p>○運営手法への意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有や意見交換の場をさらにもつ ・ワークショップ型のざっくばらんな会議 ・年間行事予定表があれば見通しをたてることができる ・福祉や病院の専門職と連携した行事等の広報依頼 ・ひとりひとりが提案型で話すことを意識する ・女性役員が入りやすい工夫
<p>来年度以降 に向けて</p>	<p>・ワークショップで出たアイデアを踏まえ、以下の三つのポイントで今後の展開を検討する。</p> <p>①交流と対話の機会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○5月の各種団体連絡会でワークショップの成果を共有検討 ○事業者にも声をかけ、年間行事のスケジュールを共有する (具体的には) ・地域の取り組みを相互に知る交流 ・継続的な話し合いの機会をもつ <p>②事業者と連携した地域広報 (具体的には)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉事業の個別訪問時に地域情報を発信 <p>③テーマ別の企画づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○住民の関心に基づき、できることからはじめていく (具体的には) ・まずは人気が高まってきているニュースポーツイベントや、住民の関心が高い「防災」に関する行事を行い、地域交流を図っていく。

【WSの様子：写真】

第1回		
第2回		
第3回		

春日丘地区 まちづくり



ワークショップ

～アフターコロナの春日丘のまちづくりを考える～

春日丘地区では各組織で活発な取り組みが行われていますが、地域全体で集まってまちのことを考える機会は少ない現状にあります。今回のワークショップでは、参加された方々が所属している組織が「日頃どんな地域活動を行っているのか」を改めて共有すること。一住民として、これからの春日丘がどうなっていくといいのか。それらをうけて、これから春日丘ではどんな活動が求められるのか。などを3回に分けて話し合っていきたいと思います。

ワークショップの内容と日程 会場：春日丘小学校家庭科室

令和4年11月12日（土） 13:30～15:30 【地区の各組織を改めて知る編】参加者の所属するそれぞれの組織の活動内容や課題を共有し、まずはお互いのことをもっと知りましょう。

令和4年12月10日（土） 13:30～15:30 【ひとりの住民として地域を考える編】第1回のお話し合いを踏まえ、春日丘地区の魅力と課題を話し合い、ありたい地域像を考えていきましょう。

令和5年1月28日（土） 13:30～15:30 【これからの取組を考える編】第2回で見てきた「ありたい地域像」を目指すために、どのような取組が必要か話し合しましょう。

ワークショップとは…

テーマや話題について、人々が集まって主体的に話し合う場のことを言います。よりよい話し合いができるように、中立な立場の進行役を置いたり、意見を整理するための様々な手法や道具を活用します。



主催：春日丘小学校区連合自治会、茨木市市民協働推進課

貴団体名	
代表者名	
参加者名	
出欠	出席します 欠席します (いずれかに○印をお願いします)

点線部分で出欠票を切り取り、連合自治会会長の岡村か、連合役員までご提出ください

第1回資料

地域活動の活性化に向けたワークショップ

春日丘地区まちづくりワークショップ

～アフターコロナの春日丘のまちづくりを考える～

【第1回】

まちとしごと総合研究所

地域活動の活性化に向けたワークショップ

ごあいさつ

地域活動の活性化に向けたワークショップ

地域活動の活性化に向けたワークショップ

[春日丘地区]

地域コミュニティの現状

【背景】

- 少子高齢化に伴う人口減少や人口構造の変化
- 人々の価値観の変化
- ライフスタイルの多様化
- 核家族化、単身世帯や共働き世帯の増加



【現状（課題）】

- 自治会加入率の低下（54.9%）
- 高齢化による担い手不足
- 自治会等の役員就任への負担感
- 地域活動に対する負担感



地域活動の活性化に向けたワークショップ

地域活動の活性化に向けたワークショップ

[春日丘地区]



【影響】

- 自治会等への未加入や脱会
- 防犯、防災、福祉、環境などの自治会機能が縮小

「安全・安心で住みよいまちづくり」
への影響が懸念される。

そこで！！



地域活動の活性化に向けたワークショップ

地域活動の活性化に向けたワークショップ

[春日丘地区]

ワークショップについて

平成30年度から、各小学校区でワークショップを実施しています。

地域コミュニティ基本指針

⇒「地域が主体的に行う取組」の一つである
「協議の場づくり」として実施。

目標「担い手の充実、活動への参画」



地域活動の活性化に向けたワークショップ

2022年11月12日 (土) 13:30-15:30	【地区の各組織を改めて知る編】 春日丘地区の地域活動の状況確認と課題共有
2022年12月10日 (土) 13:30-15:30	【ひとりの住民として地域を考える編】 地区の魅力と課題を出しあい、これからの春日丘を考える
2023年 1月28日 (土) 13:30-15:30	【これからの取り組みを考える編】 第2回で見てきた方向性と課題をもとに、できることを考える

コロナ禍で運営や話し合いが難しい中ではありますが
現状を共有し理解を深め、これからの考える契機としましょう

本日のおおよその流れについて

時間	内容
13:30～	ごあいさつ
13:35～	ワークの説明
13:45～	自己紹介、ウォーミングアップ
14:00～	活動紹介、グループワーク
15:10～	全体での共有
15:25～	次回のご案内・閉会挨拶
15:30	閉会予定 ※話し合いの進捗で前後します

同じグループの方と自己紹介/声を出してみましよう

おひとり1分程度でウォーミングアップ

①お名前

②どんな地域組織にご所属ですか？

③今日は「どんなお気持ち」で参加されていますか？

春日丘を語りたい！/何させられるんだ…

話し合いのウォーミングアップ

①	
②	
③	
④	
⑤	

今日の朝は何を食べてきましたか？

①	朝は「パン」でした！
②	朝は「ごはん」でした！
③	それ以外です！
④	食べてません！
⑤	——

春日丘は「住みやすいまち」ですか？

①	住みやすい！おすすめしたい！
②	住みやすい！
③	まあ住みやすい。
④	住みやすいけど課題も…。
⑤	実は住みにくい…。

春日丘校区の活動は活発だと思いますか？

①	とても活発！市内でも有数！
②	他にもいい校区はあるけど負けてない！
③	活発だし内容もいい！誘いたい！
④	活発だけど課題もある…
⑤	あまり活発ではないかも…

コロナ禍を経て、今はどんな状況ですか？

①	活動があまりできていない
②	一部復活してきたがあまりできていない
③	だいぶ戻ってきたが、以前と違う雰囲気
④	かなり戻ってきた！が課題もある…
⑤	かなり戻ってきた！みんな頑張るモード！

他の団体、隣の自治会などの活動を知っていますか？

①	よく知っている！
②	だいたいわかる！
③	関わったものしか知らない
④	あまり知らない
⑤	実はほとんど知らない…

同じグループの方に地域の団体紹介

お手元のA4サイズ用の紙

自分の地域の 所属組織 (以前やっていた)	主にどんな方を 対象にしたもの？
この組織の大事な 取り組みを3つ あげると？	そこに関わる モチベーションは？

地域活動の活性化に向けたワークショップ

よりよい話し合いをするために
ファシリテーターという役割



中立な立場でみなさんが話しやすい環境を整えます

地域活動の活性化に向けたワークショップ

よりよい話し合いのためのお願い

① さまざまな意見がでることを歓迎

それは違う！ → その発想はなかったな

② 誰かのお話に「そうだね！」を歓迎

~~＊違う意見を言わなければならない？~~

③ 騙されたと思ってやってみる

④ 今日の話はここだけ（肩書を忘れる）

~~＊あの意見よかったからやってよ~~

~~＊あんなこと言うなんてけしからん！~~

各種地域組織の良さと課題を再整理しましょう

うちのこれすごい！
地域のこれもいい！

例えば他の地域ででた話題

- ・〇〇まつりは地域の誇り！
- ・うちの民生委員の〇〇さんは住民さんから評判がいい！
- ・〇〇の取り組みはとても喜ばれている

うちのこれ課題だけど
みんなはどう？

例えば他の地域ででた話題

- ・個人情報のルールが厳しくなってやりにくい…
- ・若者とは言わない、せめて50代がもっと参加してほしい…
- ・よそが何しているかわからない

こんなことやれたらなあ…

次回 第2回のお知らせ

ひとりの住民として地域を考える編

第1回は地域組織をもとに考えました。次回は、組織ではなく「いち住民」の目線から、改めて春日丘の「まちの現状とこれから」を考えてみましょう。

2022年12月10日（土） 13:30-15:30

春日丘小学校

所属組織	活動の主な対象	自組織の大切な取り組み	ご自身の活動に関わるモチベーション（動機）とは？
連合自治会	単位自治会	-	地域福祉の充実や実現
自治会	地域の住民の方	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者、子どものサポート 地区運動会などへの参加 行事等による地域活性化 募金活動 日頃のあいさつ 親睦 助け合い 	-
公民館	地域内の全住民の方	<ul style="list-style-type: none"> 地域の絆 笑顔 子どもの見守り 高齢者の見守り 犯罪のないまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ありがとうございます、こんにちは等のあいさつ、笑顔が見られる
民生児童委員会 福祉委員会	<ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らし高齢者 高齢世帯 未就学児童と保護者 	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らし高齢者の見守り 乳幼児の見守り 小学校の活動支援 子育て中の親への支援 困りごとを専門家へつなげる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が元気で笑顔でいられる 自分も育つ、成長できる もっとよくしたいという向上心 おもしろい
茨木市認知症地域支援推進員	認知症とともに生きておられる方	認知症になっても自分らしく安心安全に過ごしていただくための本人支援、家族支援、地域支援	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の人や認知症の人に優しくして下さる人が好き
スポーツ推進委員	高齢者、特に70代以上	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ推進活動 コミュニケーションや対話 	<ul style="list-style-type: none"> 前へ進むこと 自分の体を大切にしたい
青少年健全育成会	中学生	<ul style="list-style-type: none"> 地域貢献 主体的な取り組み 親睦 	お祭りの要素
春日丘小学校区サーフネットワーク会議	全世代	個別支援から地域支援に！	毎月1回やっていること
地域安全センター	地域の役員の方	<ul style="list-style-type: none"> 地域をもっと知ってもらう 	安心・安全な地域をつくりたい
茨木みどりが丘病院	患者の方	<ul style="list-style-type: none"> 真心の医療と福祉を通じて地域の人々に貢献する 救急医療 健康教室・市民公開講座 	地域貢献をしたい
茨木みどりが丘訪問看護ST	-	<ul style="list-style-type: none"> 在宅で過ごされている方への看護支援 生活しやすいよう環境を整える支援 地域で最後まで過ごせるよう取り組んでいる緩和ケア 	利用者様が笑顔で生活できている姿を見ること
慶徳会障がい者相談支援センター	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者 障がい者家族 	<ul style="list-style-type: none"> 地域生活のサポート 啓発活動 虐待対応 	ありがとうございますと言われた時
春日幼稚園	子ども	<ul style="list-style-type: none"> 運動会 発表会 日々の保育 	子どもの笑顔
児童養護施設	家族と離れて暮らす児童	<ul style="list-style-type: none"> 家族再統合 育てる、つなげる 	笑顔と涙
春日丘・穂積地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> 校区の相談窓口であり、どの年代でもOK 高齢者とその家族 	<ul style="list-style-type: none"> フンストップが必要などころへつなぐ 地域へ出向く 楽しいことがしたい 相談 ケアマネ支援 	<ul style="list-style-type: none"> みんなでワイワイすること 名前で呼ばれること ありがとうございます、助かったという言葉と笑顔 まずは知ることからはじめ、役に立ちたい
地元企業（日東電工）	従業員（研究開発）	<ul style="list-style-type: none"> 将来の事業（製品）開発 	<ul style="list-style-type: none"> 新製品の上市

ご意見		1	2	3	4
うちの組織、 これはすごい	私がやってよかったこと		・このワークショップが開催されたこと		・緊急医療について、救急車（ハイメック）を購入、救急教 命士の雇用、救急専用送迎車を設置→救急搬送件数UP、現在平均 6件ほど。
	私がやりがいを感じる	・自分自身が参加して楽しい	・行事でみんなが一体になること		
	住民同士の関係性 について	・地域行事を軸に交流が行われている	・住民が優しい ・古くから住んでいる方が外から入ってくる方を歓迎 ・地区運動会で中学生がお手伝い ・地域の見守りがすごい	・役員を先輩が連れてくる ・市内一斉清掃が社交の場になっている	・みんなやる気満々 ・フットワークが軽い ・団結力、公民館のまとまりがいい ・地域が熱い ・どこでもどなたでも参加したいと思っている
	地域の行事について	・大正川清掃 ・公民館活動 ・田植え稲刈り ・文化展 ・子ども教室講座（内容、数） ・まいつ休校 ・お茶つき ・防災訓練 ・ふるさと祭り ・地区体育祭 ・とんど焼き	・子どもたちが四季を感じられるよう、季節ごとに公民館主催 のイベントがある ・子ども中心の行事が多い ・子どもから高齢者までが参加できる行事が多い ・公民館の行事が活発 ・ふるさと祭りの子どものお自慢 ・秋祭りの出店とお神輿、ふるさと祭りの出店 ・地域住民と関係機関が一線になった避難訓練	・市内一斉清掃 ・会社展覧の清掃 ・放課後子ども教室 ・地区体育祭 ・ふるさと祭り ・例大祭り ・地蔵盆 ・地区ソフト・キック大会 ・連会自らの行事開催時の寄付 ・公民館小学生見学 ・会社見学、職場体験受け入れ	・とんど、ふるさと祭りなど様々な行事があること ・歴史のある行事 ・社会資源の活用が出来ている ・子ども中心のイベントが多い
	この組織・この取 組みがいい	・公民館 ・運営委員会 ・福祉委員会 ・朝の見守り隊 ・園児がしっかりと挨拶をする ・園の方針がよく歩くので身体が強い子が多い ・春日小のPTAは総会資料などデジタル化を進めている →投票などもデジタル化	・役を長年やっている方や兼務でやられている方が多い ・何かをするときの横のつながりが強く、連携もとりやすい ・担当CSWが熱い ・民生委員が福祉委員も兼ねていて、小学生との関わりが多い	・登下校見守り ・エキスポロードの清掃	・登下校のボランティア ・公民館を中心にまとまっている
まちの様子	・趣のある街並み ・町屋が少ないこと ・雑居が安定定住者が多いこと ・若いハビリスタッフやベテランの看護婦がいるので、 人材の面で医療体制が整っている。	・駅が近い ・バスが便利 ・イオンがある ・大学が近い ・地域環境がお気に入り ・1970年の万博で身近になったエキスポロード ・平塚 ・公民館にエレベーターができること	・歩道の提供 ・万代館のアルメフェン化	・学校の運動場に場がない（先行事例として実験していたが、 事件などの影響でその使えなくなった。広々と使うことが できるので、子どもたちにとって良い。） ・包括支援センターが駅前になり、何かのついでに行ける ・病院や会社は地域のランドマーク ・福祉（登下校の見守り、お茶飲み体談、おまづり体験など）と 学校の関係がきちんとある	
うちの組織、 これは課題	組織の取組の課題		・子どもの悪い事に忙しかって地域の行事に参加しないこと ・新規行事への取り組みがないこと ・行事の内容は従来のままが多いこと ・地域の高齢化で運動会への参加者がいない自治会も	・コロナで夏祭りイベントができないこと ・コロナ禍を経て地域行事見直しの必要性	・コロナで個人との関係が希薄化 ・地域の安心安全も考えなければいけない ・地域情報と包括支援センター情報交換の意味 ・地域の皆さんが包括支援センターに対してどう思っているの か知りたい 【病院の課題】 ・中規模病院であるためコロナの受け入れができない ・小児緊急入院 ・築年数が古い（昭和56年4月）
	組織運営や人材の課題	・子ども会など子どもに通じるチャンネルの減少 ・運営に子どもが参加してほしい ・中高生に参加してほしい ・自治会メンバー固定化 ・公民館館長の充てがいが多い ・自治会によつての差が年々大きくなっている ・連合自治会に未加入の自治会が増えた ・青楓のPRをしていないため何の団体かわからない ・高齢者以外の情報や個人情報の取得 ・幼稚園の立ち位置	・連合会の加入が少ない ・連合会役員の意識が薄い ・連合会の真の目的が不明確 ・自治会に活動に積極的でない30～60代の増加 ・自主防災に参加する人が少ない ・子どもの数が減少して子ども会がなくなった ・高齢化で自治会長を志す人がいない ・民生委員のなり手が見つかからない （民生委員の定年制や市役所の働きかけなどの対応が必要） ・福祉委員が少ない	・児童数の減少 ・それに伴って行事への参加者も減少している ・ボランティアの高齢化 ・ソフト、キック大会が子どもが少なくなるとチームが作れない	・自治会長の1年交代、世代交代ができない ・同じ人が何年も役を任している ・子ども会が減少（増減した） ・子どもの取り組みにおいて保護者のサポートが少ない ・個人情報の問題があり名簿が入手できない ・役がまわってくるかもしれない不安 ・情報発信方法の工夫が必要 ・世代間で情報を共有できていない ・子ども中心のイベントが多いため、子どものいないところには は情報がない ・地域組織の相互関係をよく知らない、また種に整えてもらえ るかわからない ・地域のどこに何をいえば繋がっていきけるかわからない ・地域を再編する努力 ・積極的な考えを行動 ・誰かがやってくれるだろうという気持ち
	まちの課題	・子どもが減少していること、空き地がなく物理的に若い 人が入ってこない ・若手市民が少ない ・病院が新しくなり、博愛病院の方が住民に浸透している	・8050問題（若者介護） ・集合住宅に高齢者が多いこと ・認知症と老人と会えない ・認知症を支援する家族が悩みを構えていないか ・課題のある生活環境に慣れて課題と認識していない ・介護者も高齢、車の上での開催だと家族教室に参加できない ・介護保険事業が少ない ・入院できる病院が少ない ・病院が築年数が新しい病院の前がまだ浸透していない ・イオン様の標準歩道の音が鳴らない ・空き地もなく、若い家族が引っ越してこない	・高齢者世帯一人暮らしによる空き家問題 ・連自会25中20加入済みなのであと5つ、 歩道の差切れがないこと ・マンションは管理会社が清掃してくれるのはありがたい が、交流が生まれない	
やってみたらどうか	・中高生が主体となる行事 例）お米を作りたい、地域の方の交流 ・プラットフォーム 例）単にしゃべるだけの場、大きい公園が中心地にある ・大規模な課題検証訓練 ・ボランティアを有償ボランティアへ ・地域内の企業と協同 ・訪問看護ってこんなことできる（健康相談会など）	・空きテナントで引きこもり状態の方の居場所づくり ・小学校や幼稚園、保育所の際に高齢者施設を作る ・新しい集合住宅を作る（公でも民でも） ・認知症キッズサポーター養成講座、活動チームづくり ・大学生との交流の場を設けたい ・大学生の生活の場	・子ども向け技術講座（日東電工） ・会社見学などのイベント推進 ・災害時の防災支援協力 ・自治会が連合会に入ってくればさらなる取り組みができる かも... ・連自会と一緒にいかでかできればいいな... ・若手市民の積極採用		

第2回資料

地域活動の活性化に向けたワークショップ

春日丘地区まちづくりワークショップ

～アフターコロナの春日丘のまちづくりを考える～

【第2回】

まちとしごと総合研究所

地域活動の活性化に向けたワークショップ

ごあいさつ

日頃の会議を離れて少し大きな視点で語る3回

2022年11月12日（土） 13:30-15:30	【地区の各組織を改めて知る編】 春日丘地区の地域活動の状況確認と課題共有
2022年12月10日（土） 13:30-15:30	【ひとりの住民として地域を考える編】 地区の魅力と課題を出しあい、これからの春日丘を考える
2023年 1月28日（土） 13:30-15:30	【これからの取り組みを考える編】 第2回で見てきた方向性と課題をもとに、できることを考える

コロナ禍で運営や話し合いが難しい中ではありますが
現状を共有し理解を深め、これからの考える契機としましょう

本日のおおよその流れについて

時間	内容
13:30～	ごあいさつ
13:35～	ワークの説明
13:40～	自己紹介、ウォーミングアップ
14:20～	前回ワークの結果共有、グループワーク
15:15～	全体での共有
15:25～	次回のご案内・閉会挨拶
15:30	閉会予定 ※話し合いの進捗で前後します

進行役・ファシリテーターのご紹介

よりよい話し合いをするため ファシリテーターという役割



中立な立場でみなさんが話しやすい環境を整えます

地域活動の活性化に向けたワークショップ

よりよい話し合いのためのお願い

- ① さまざまな意見がでることを歓迎
それは違う！ → その発想はなかったな
- ② 誰かのお話に「そうだね！」を歓迎
*違う意見を言わなければならない？
- ③ 騙されたと思ってやってみる
- ④ 今日の話はここだけ (肩書を忘れる)
*あの意見よかったからやってよ
*あんなこと言うなんてけしからん！

同じグループの方に改めてご挨拶を

おひとり2分程度でウォーミングアップ

①お名前

②最近あった私のよい出来事

③前回このグループのみなさんと話せてどんな感想を持ちましたか？

(前回不参加の方) 今日とはどんな気持ちでご参加ですか？

話し合いのウォーミングアップ①

グループで話し合い合意してみるゲーム



無人島に3つものをもっていくとしたら？

それを選んだ理由はなんですか？

※ただし多数決は禁止、話し合いで合意

※どんな無人島かという制限はありません

話し合いのウォーミングアップ②

この10個の中で大事なアイテムを優先順位4個まで選び、1位～4位までの順位をつけてください

- ・ライフル1つ
- ・板チョコ10個
- ・方位磁石1つ
- ・ナイフ1本
- ・懐中電灯1つ
- ・スキーセット1組
- ・固形油の入った金属缶1つ
- ・新聞朝刊5日分
- ・マッチ箱
- ・ウィスキー1本

このグループの設定

- ・年末年始の休暇を利用して海外旅行に出かけました。
- ・ツアーのメインアクティビティはオーロラを見ることでした。
- ・しかし、グループの乗った飛行機は嵐に見舞われ着陸しようとしません。
- ・操縦士は30 kmほど離れた場所に街があるのが見えました。
- ・機体は森に不時着し、全員無事に脱出したものの、飛行機は大破。
- ・周辺の気温はマイナス20度ほどまで下がります。
- ・あたりを探し、以下の10個のアイテムが



ライフル丁
(弾24発)



板チョコ10枚



固形油の入った金属缶



スキーセット1式



サバイバルナイフ



新聞紙朝刊5日分



大箱入りのマッチ



方位磁石



ウィスキー1本



大型懐中電灯(電池入り)

前回ワークの結果共有 (春日丘の組織紹介)

所属組織	活動の主な対象	自組織の大切な取り組み	ご自身の活動に関わるモチベーション(同期)とは?
連合自治会	単位自治会		地域福祉の充実や実現
自治会	地域の住民の方	・高齢者、子どものサポート ・地区運動会などへの参加 ・行事等による地域活性化 ・募金活動 ・日頃のあいさつ ・継続 ・助け合い	
公民館	地域内の全住民の方	・地域の絆、笑顔 ・子どもの見守り ・高齢者の見守り ・犯罪のないまちづくり	・ありがとう、こんにちは等のあいさつ、笑顔が見られる
民生児童委員会 福祉委員会	・ひとり暮らし高齢者 ・高齢世帯 ・未就学児童と保護者	・一人暮らし高齢者の見守り ・乳幼児の見守り ・小学校の活動支援 ・子育て中の親への支援 ・居る専門家へつなげる	・自分が元気で笑顔でいられる ・自分も育つ、成長できる ・もつとよくなりたいという向上心 ・おもしろい
茨木市認知症地域支援推進員	認知症とともに生きておられる方	認知症になっても自分らしく安心安全に過ごしていただくための本人支援、家族支援、地域支援	・認知症の人や認知症の人に優しくして下さる人が好き
スポーツ推進	高齢者、特に70代以上	・スポーツ推進活動 ・コミュニケーションや対話	・前へ進むこと ・自分の体を大切にしたい
青少年育成会	中学生	・地域貢献 ・主体的な取り組み ・継続	お祭りの要素
春日丘小学校セーフティネット会議	全世代	・個別支援から地域支援に!	毎月1回やっていること
地域安全センター	地域の役員の方	・地域をもっと知ってもらおう	安心・安全な地域をつくりたい
茨木みどりが丘病院	患者の方	・真心の医療と福祉を通じて地域の人々に貢献する ・救急医療 ・健康教室・市民公開講座	地域貢献をしたい
茨木みどりが丘訪問看護ST	-	・在宅で過ごされている方への看護支援 ・生活しやすい環境を整える支援 ・地域で最後まで過ごせるよう取り組んでいる緩和ケア	利用者様が笑顔で生活できている姿を見ること
慶徳会障がい者相談支援センター	・障がい者、障がい児家族	・地域生活のサポート ・啓発活動 ・虐待対応	ありがとうと言われた時
春日幼稚園	子ども	・運動会 ・発表会 ・日々の保育	子どもの笑顔
児童養護施設	家族と離れて暮らす児童	・家族再結合 ・育てる、つなげる	笑顔と涙
春日丘緑地地域包括支援センター	・校区の相談窓口であり、どの年代でもOK ・高齢者とその家族	・ワンストップで必要なところへつなぐ ・地域へ向く ・楽しいことがしない ・相談 ・ケアマネ支援	・みんなでワイワイすること ・名前が呼ばれること ・ありがとう、助かったという言葉と笑顔 ・まずは知ることからはじめ、役に立ちたい
地元企業(日東電工)	従業員(研究開発)	・将来の事業(製品)開発	・新製品の上市

お手元の配布資料をご覧ください

春日丘のまちや人「現状」「未来」のキーワードを考える

地区の
いいところ

現状

地区の
気になること

【春日丘地区の今】

「まちの良さ・魅力」
「まちの困りごと」
「まだできていないこと」

【連想のヒント】

子ども、高齢者は？
現役世代は？
みんなの暮らしは？
まちの様子は？
防災等いざというとき

春日丘のまちや人「現状」「未来」のキーワードを考える

【春日丘地区の未来】
「地区のよりよい姿」
「なってほしくない未来」

【連想のヒント】

子ども、高齢者は？
現役世代は？
まちの担い手は？
みんなの暮らしは？
まちの様子は？
防災等いざというとき

地区がもっと
こうなってほしい

未来

地区がこうなったら
嫌だな・・・

春日丘のまちや人「現状」「未来」のキーワードを考える

地区のいいところ	地区がもっとこうなってほしい
現状	未来
地区の気になること	地区がこうなったら嫌だな…

(例) 前回の「組織の良さ・課題」のご意見を反映

地区のいいところ	地区がもっとこうなってほしい
<ul style="list-style-type: none">・交通、商業施設、大学も近く住みやすい・地域行事が活発・住民が活発で、優しい・子ども中心の行事が多い・公民館を中心に団結している・趣のある町並み・医療、福祉が活発で充実している	
現状	未来
<ul style="list-style-type: none">・子どもがいないと地域の情報が届かない・運営メンバーの固定化、兼務で若い人が少ない・地域組織の相互関係がわからない・30代～60代の参加が少ない・新規行事が少ない、新鮮味がない・コロナ禍を経て行事の見直しが必要？・高齢一人暮らし世帯の空き家問題・老老介護、認知症のケア、その家族のケア	
地区の気になること	地区がこうなったら嫌だな…

次回 第3回のお知らせ

これからの取り組みを考える編

第2回はまちや人をもとに考えました。次回は、見えてきた方向性と課題をもとに、テーマを設定して、地区として、できることを考えてみましょう。

2023年 1月28日（土） 13:30-15:30

春日丘小学校

4グループの多かった意見をまとめて抽出

地区のいいところ

- ・【利便性】交通、商業施設、大学も近く住みやすい
- ・【安心】警察、福祉関係者、医療、保育が充実
福祉ネットワークができています
- ・【子ども】見守りや、遊べる環境がある
- ・【自然環境】田んぼ、農業、山、水路のいきもの
- ・【つながり】地域行事や活動が活発、住民が優しい
公民館を中心にとままっている
- ・【歴史】地域組織の歴史、神社、行事、亀岡街道
- ・【企業】企業が多く、助成などもある

- ・【担い手】地域組織への加入減少、地域の核となる
人材の育成、お隣同士のつながりの希薄化
- ・【負担】役員のなり手、役の固定化、担い手の高齢
化と世代交代の課題
- ・【組織連携】各団体の活動の把握と連携をさらに深
める、組織同士のつながりを深める
- ・【若者・子ども】見守りに若い世代が入っていない、
子ども会が無くなっていく
- ・【高齢者】認知症、老老介護、独居と孤独、早期把
握、高齢者向けの行事が少ない

地区の気になること

地区がもっとこうなってほしい

- ・【利便性】さらに便利になってほしい！再開発
- ・【多様性】ジェンダー、高齢者への配慮
- ・【子ども】子ども会が活発に、子どもが行事運営に
関わる、子ども中心の行事の復活、子どもが帰っ
てきたくなるまち
- ・【担い手】担い手の増加、役員の若返り、中高大学
生が関われる、ボランティアを募る
- ・【医療・福祉】誰もがなんでも相談できる、つなが
りから困っている人を見つけれられる
- ・【自然】自然、田んぼが無くなる、商店街が廃れる
- ・【多様性】極端に若者向けのまちになる、高齢者の
活気がなくなる、高齢者ばかりになる
- ・【つながり】交流がなくなる、若い人とのつながりが
なくなる、あいさつできない、他人事になる、隣
の顔がわからなくなる
- ・【担い手】役の担い手がいない、組織の加入が減る
ワークショップに参加する人がいない
- ・【災害】災害へ関心がなくなる

地区がこうなったら嫌だな……

第3回資料

地域活動の活性化に向けたワークショップ

春日丘地区まちづくりワークショップ

～アフターコロナの春日丘のまちづくりを考える～

【第3回】

まちとしごと総合研究所

日頃の会議を離れて少し大きな視点で語る3回

2022年11月12日（土） 13:30-15:30	【地区の各組織を改めて知る編】 春日丘地区の地域活動の状況確認と課題共有
2022年12月10日（土） 13:30-15:30	【ひとりの住民として地域を考える編】 地区の魅力と課題を出しあい、これからの春日丘を考える
2023年 1月28日（土） 13:30-15:30	【これからの取り組みを考える編】 第2回で見えてきた方向性と課題をもとに、できることを考える

コロナ禍で運営や話し合いが難しい中ではありますが
現状を共有し理解を深め、これからの考える契機としましょう

本日のおおよその流れについて

時間	内容
13:30～	本日のワークショップについて
13:35～	自己紹介、話し合いをはじめるにあたって
13:45～	ウォーミングアップ
14:00～	前回の結果共有、今日の話し合いの説明
14:15～	アイデアワークショップ
15:05～	本日の結果の共有
～15:30	ごあいさつ ※話し合いの進捗で前後します

進行役・ファシリテーターのご紹介

よりよい話し合いをするため
ファシリテーターという役割



中立な立場でみなさんが話しやすい環境を整えます

地域活動の活性化に向けたワークショップ

よりよい話し合いのためのお願い

- ① さまざまな意見がでることを歓迎
それは違う！ → その発想はなかったな
- ② 誰かのお話に「そうだね！」を歓迎
*違う意見を言わなければならない？
- ③ 騙されたと思ってやってみる
- ④ 今日の話はここだけ（肩書を忘れる）
*あの意見よかったからやってよ
*あんなこと言うなんてけしからん！

最終回、ぜひお名前呼び合ってください！

おひとり2分程度でウォーミングアップ

- ①お名前（所属組織）
- ②2023年の豊富は？その理由は？
- ③今日のワークをするにあたってみなさんへのメッセージ（今日はどんなお気持ちでのご参加ですか？）

（前回不参加の方も、ごあいさつをおねがいします！）

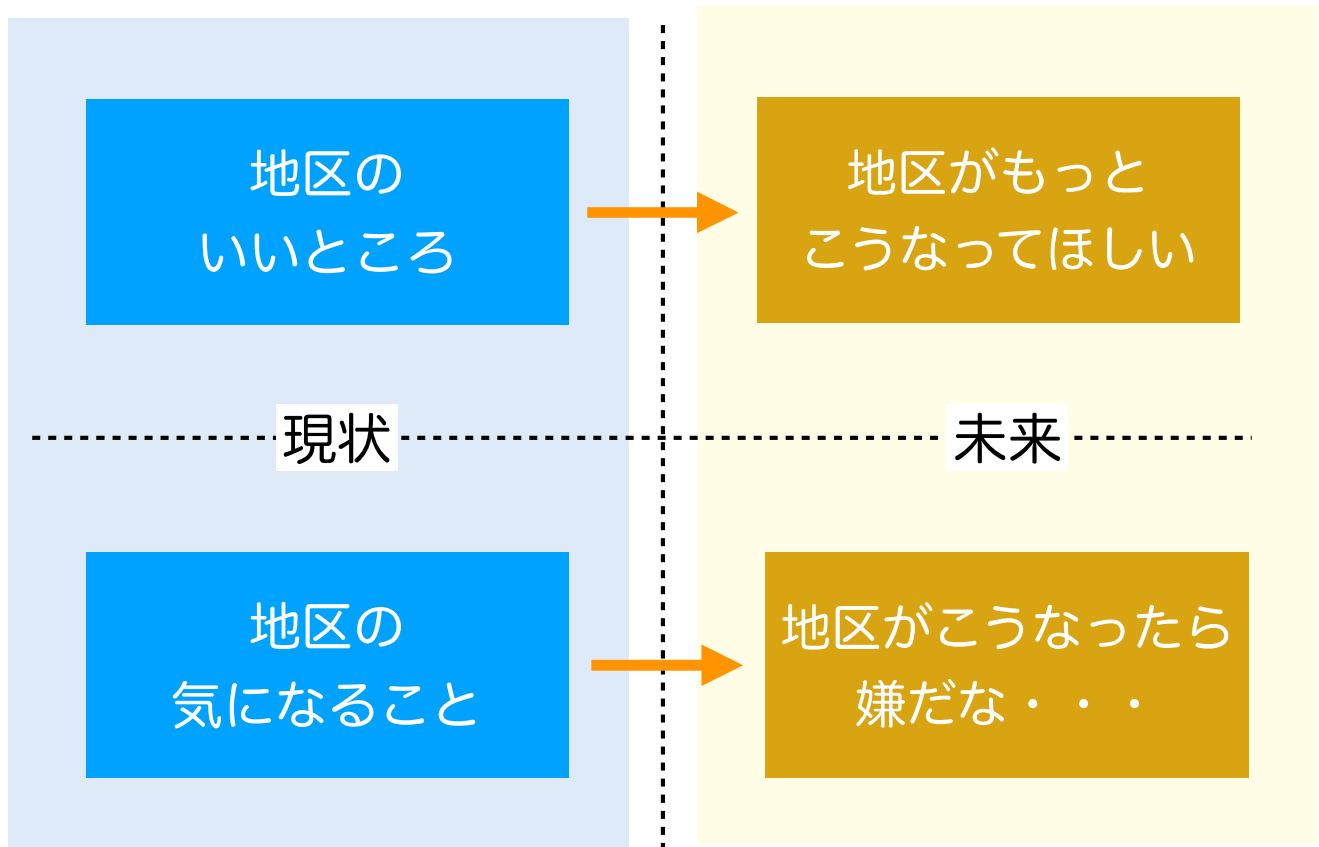
話し合いのウォーミングアップ①

もしも●●だったらで考える企画ゲーム



もしもこのグループが会社の新年会で
「なにか余興をやってよ！」
と社長に言われたらなにをしますか？

前回のワークの結果共有（全体まとめ、グループごと）



4グループの多かった意見をまとめて抽出

地区のいいところ

- ・【利便性】交通、商業施設、大学も近く住みやすい
 - ・【安心】警察、福祉関係者、医療、保育が充実
福祉ネットワークができています
 - ・【子ども】見守りや、遊べる環境がある
 - ・【自然環境】田んぼ、農業、山、水路のいきもの
 - ・【つながり】地域行事や活動が活発、住民が優しい
公民館を中心にまとまっている
 - ・【歴史】地域組織の歴史、神社、行事、亀岡街道
 - ・【企業】企業が多く、助成などもある
-
- ・【担い手】地域組織への加入減少、地域の核となる
人材の育成、お隣同士のつながりの希薄化
 - ・【負担】役員のなり手、役の固定化、担い手の高齢
化と世代交代の課題
 - ・【組織連携】各団体の活動の把握と連携をさらに深
める、組織同士のつながりを深める
 - ・【若者・子ども】見守りに若い世代が入っていな
い、子ども会が無くなっている
 - ・【高齢者】認知症、老老介護、独居と孤独、早期把
握、高齢者向けの行事が少ない

地区の気になること

地区がもっとこうなってほしい

- ・【利便性】さらに便利になってほしい！再開発
 - ・【多様性】ジェンダー、高齢者への配慮
 - ・【子ども】子ども会が活発に、子どもが行事運営に
関わる、子ども中心の行事の復活、子どもが帰っ
てきたくなるまち
 - ・【担い手】担い手の増加、役員の若返り、中高大学
生が関われる、ボランティアを募る
 - ・【医療・福祉】誰もがなんでも相談できる、つな
がりから困っている人を見つけられる
-
- ・【自然】自然、田んぼが無くなる、商店街が廃れる
 - ・【多様性】極端に若者向けのまちになる、高齢者の
活気がなくなる、高齢者ばかりになる
 - ・【つながり】交流がなくなる、若い人とつながりが
なくなる、あいさつできない、他人事になる、隣
の顔がわからなくなる
 - ・【担い手】役の担い手がない、組織の加入が減る
ワークショップに参加する人がいない
 - ・【災害】災害へ関心がなくなる

地区がこうなったら嫌だな…

抽出した春日丘地区の4つのテーマ

もしもこのグループが地域組織から任命された
春日丘の活性化アイデア 特命係チームだったら

①	春日丘の次の担い手の地域参加の機会をつくり、育むためには？ (40～60代や若者、ボランティアなど)
②	子どもに様々な機会があり、地域で健やかに育つためには？
③	年齢を重ねても地域で豊かに暮らしていくためには？
④	地域や人のつながりをさらに促進し、つながりを深めるためには？

4つのテーマにどんなアイデアをだしますか？

ごあいさつ：全3回おつかれさまでした

自治を考えることに終わりはない

第3回までお付き合いをいただきましてありがとうございます。今回の話し合いの内容をとりまとめたものを整理して地域にお返ししますので、春日丘の次なる地域活動に、ぜひお役立てください。